

「芝居」で表現力養成

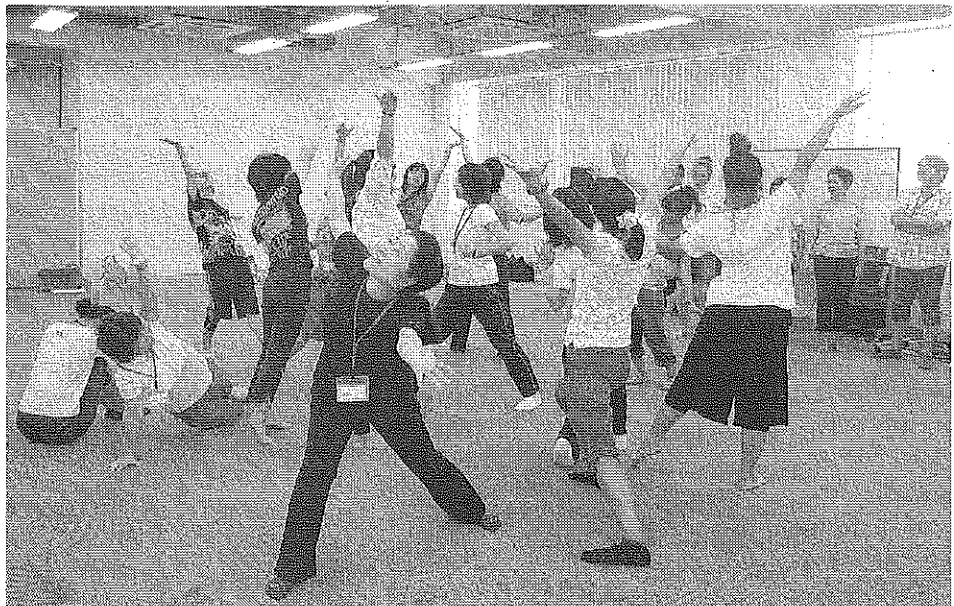
「ドラマメイキング」広がる

「コミュニケーション能力の向上を目指し、芝居の要素を取り入れたユニークな教育法「ドラマメイキング」が注目を集めている。これまで主に小中学校などで活用されてきたが、就職活動対策などにも用途が広がっている。

「必ず誰かの体に触ってくださいな。では、花を表現して。はい、ストップ」。大学生や教員など各地から集まった20〜50代の28人が、集団の中で触れ合いを感じながら身体表現を行う「ワンタッチ・オブジェ」に取り組んでいた。

「必ず誰かの体に触ることで腕を組んだまま行う鬼ごっこや、共通点を持つ仲間を探すゲームなど、遊びの要素を盛り込んだ多彩なメニューに挑戦していた。ドラマメイキングが本格的に取り組まれるようになったのは2007年ごろ。人間関係を育むことを目的とし、気軽に楽しくできるのが特徴だ。名称は、ドラマとコミュニケーションを組み合わせた造語。

「コミュニケーション普及センター（東京）が実施した、「ファシリテーター」と呼ばれる指導者を養成するための認定講座の一場面だ。このほか、4人1組で腕を組んだまま行う鬼ごっこや、共通点を持つ仲間を探すゲームなど、遊びの要素を盛り込んだ多彩なメニューに挑戦していた。ドラマメイキングが本格的に取り組まれるようになったのは2007年ごろ。人間関係を育むことを目的とし、気軽に楽しくできるのが特徴だ。名称は、ドラマとコミュニケーションを組み合わせた造語。



「ドラマメイキング」の指導者を養成する講座で、身体表現に取り組む受講生ら
＝東京都新宿区



ゲームを楽しむ受講生ら＝同

受講生で、富山県東部教育事務所に勤める寺島紀子さん(46)は「ドラマメイキングで学んだことを生かして、地元の生徒たちに友達の気持ちを受け止める力を植え付けたい」と期待を込める。

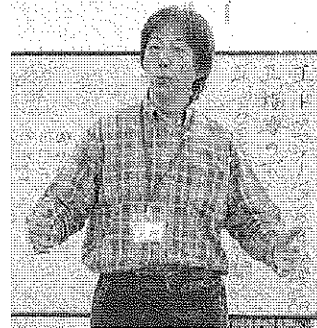
同センター講師の正嘉昭さんは、ドラマメイキングの効果について「すべて遊びなので、リラックスでき、集中できる。自分に素直に

集中力のアップなどを目的に実施されてきた。最近では、大学が就職活動に向けて、学生の自己アピール力向上のために導入したり、職場での良好な人間関係を築くために企業が研修で活用したりしている。

同センターの講座は07年にスタート。現在約180人がファシリテーターに認定されている。

就活や企業研修に活用

「注意や余計なアドバイスはせず、本人の意思を尊重する」と話す。注意や余計なアドバイスはせず、本人の意思を尊重する」と話す。注意や余計なアドバイスはせず、本人の意思を尊重する」と話す。



指導者養成講座で講義するドラマメイキング普及センターの正嘉昭さん
＝同